

2025 年度 ニチキッズ木川東保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～2月20日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月21日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念を職員の見える所に掲示し意識付けを行い、計画を立てる際は、子どもが安心して過ごせる環境作りを第一に考えるよう努めた。次年度も、子どもが毎日わくわく楽しめるような保育を職員1人ひとりが考え、実践していきたい。
子どもの発達援助	保育活動中、生活の場面において気持ちのきり替えが難しい姿、落ち着きにくい様子が見られることもあったが、その都度子ども一人ひとりの思いを受け止めながら、安心できるかわりを心掛けてきた。次年度も、生活の流れ、環境構成を工夫し、より安心して過ごせるよう心掛けていきたい。
保護者に対する支援	保護者には子どもの活動の様子を、連絡帳で、また送迎時に丁寧に伝え、コミュニケーションを図り、HPや園だよりで、日常の可愛い様子を発信することが出来た。行事内容も職員で話し合う時間を設け、成長が感じられるよう工夫し、保護者に見て頂き、一緒に成長を喜び合うことが出来た。
保育を支える組織的基盤	日々の保育を大切にし、職員同士で丁寧に声を掛け合い、支えあうことが出来た。園内研修に加え、少し外部研修にも参加し、園にて共有することも出来た。次年度は引き続き、園内・園外研修の時間をしっかり確保し保育の質の向上につなげたい。

総評
職員同士がしっかりと声を掛け合い、給食職員とともに一丸となって、支えあいながら、子どもたちが伸び伸びと過ごせる環境づくりに努め、1人ひとりの思いに寄り添うことができた。一方で、よりよい保育を目指すために、研修内容の充実、日々の保育内容の振り返りや共有を深めることを重点的に、今後も、子どもたちの思いに寄り添いながら、保育の質の向上に努めていきたい。